盛岡市都市計画マスタープラン【全体構想】（変更素案）に係るパブリックコメント結果

１　意見募集期間

令和３年４月１日（木）から４月20日（火）まで

２　意見募集方法

郵便，ファクス，直接持参及び盛岡市公式ホームページの応募フォーム

３　受付意見数

３件（１人）

４　反映区分

Ａ：計画等に盛り込むもの

Ｂ：計画等に盛り込み済みのもの

Ｃ：計画等に盛り込まないもの

Ｄ：その他，要望・意見・感想等

５　意見の趣旨と市の考え方

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 意見の趣旨 | 盛岡市の考え方 | 反映  区分 |
| １ | 東日本大震災以降，岩手県の人口減少が止まらない。  　人口減少社会も理解できるが，少しでもそれをくい止め，発展を目指す為には，都会としての県都が必要であり，城下町としての盛岡の魅力とともに，より都会としての都市創りが望まれる。  　再び市町村合併も考慮されたい。 | 高度経済成長期以後において，都市が安定成長する都市型社会となり，今後の社会においては，人口減少と少子化・高齢化が進むことが推測されており，都市の活力も低下することが懸念されています。  今後とも，歴史と風土を生かした盛岡らしいまちをつくるために，歴史的景観と調和したまちなみを誘導するとともに，県都・盛岡広域都市圏の中心として，都市機能の集積と効率性の向上を図ってまいります。 | Ｂ |
| ２ | 知事は，自動車やエレクトロニクス関連企業の立地する県央部をシリコンバレーに見立て，サンフランシスコのような母都市としての盛岡の発展を考えているようだ。  　是非盛岡市と岩手県の都市計画連携強化を望む。 | 盛岡市の都市計画につきましては，盛岡市，滝沢市，矢巾町で構成される盛岡広域都市計画区域において，岩手県が定める「都市計画区域の整備，開発及び保全の方針」に基づき，今後とも岩手県及び周辺市町と連携を強化し取り組んでまいります。  また，産業振興につきましては，「岩手県と盛岡市との産業振興の連携に関する協定書」に基づき，県央地区から県南地区にまたがる北上川流域全体の産業の高度化・高付加価値化と，各地区の特色を生かした県全体の発展の実現に向けた産業振興について，岩手県と連携し取り組んでまいります。 | Ｂ |
| ３ | カナダ・ビクトリア市との姉妹都市交流を通して，花と緑のガーデン都市盛岡を目指しハンギングバスケット等が実施されている。  　盛岡城跡公園は城下町盛岡のシンボルであり，県立美術館等文化施設のある中央公園は未来都市盛岡のシンボルである。植物園等も整備されたい。 | 中央公園への植物園の整備計画はありませんが，今後とも，市民協働などにより，公園・緑地や河川敷，道路の植樹帯，公共・公益施設等の公共空間はもとより，自宅の庭など，身近な場において花や緑に触れられるような空間の整備や植栽を推進するとともに，ハンギングバスケットを中心とした「花と緑のガーデン都市づくり」を推進し，盛岡らしい花と緑による潤いあるまちづくりを進めてまいります。 | Ｄ |